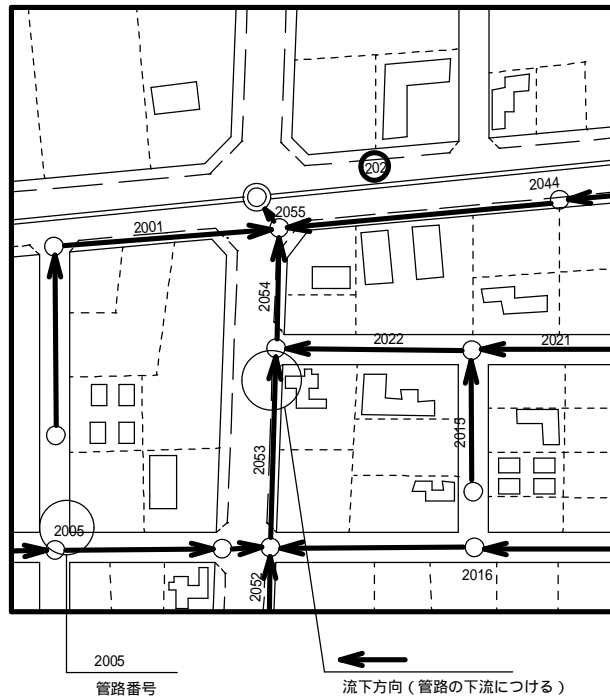


大分市公共下水道台帳作成要領

大分市公共下水道台帳作成要領(1)
(凡例)

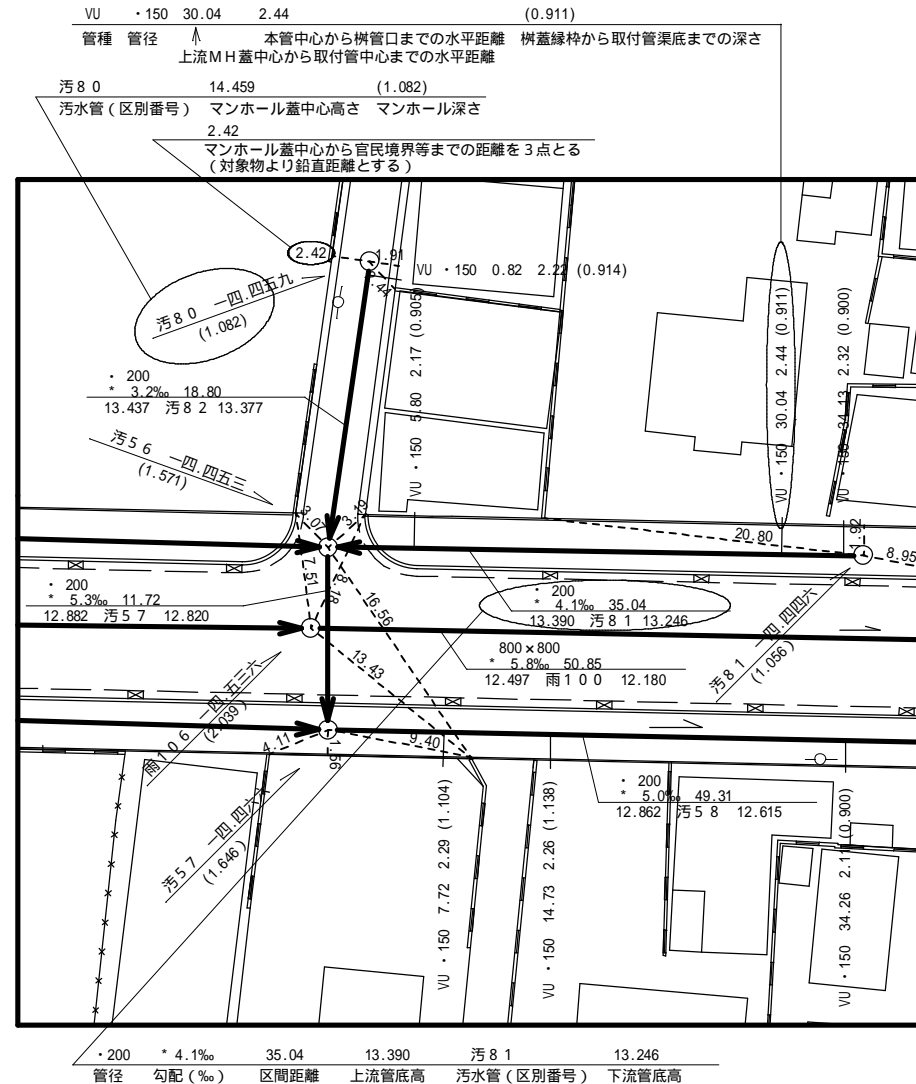
種 別	記 号	適 用	種 別	記 号	適 用
幹 線 管 渠	 4	⑫33 〔管 路 番 号〕 〔1/2,500位置図に記入〕	汚 水 樹 (2 0 0)	 1.0 3	
枝 線 管 渠	 8	1234 〔管 路 番 号〕 〔1/2,500位置図に記入〕	雨 水 樹 (2 0 0)	 1.0 3	
取 付 管 渠	 3		汚 水 樹 (3 3 0)	 1.0 3	
第 0 号 マンホール	 3	内 径 7 5 c m 円 形	汚 水 樹 (5 0 0)	 1.0 3	
第 1 号 マンホール	 3	内 径 9 0 c m 円 形	汚 水 樹 (7 0 0)	 1.0 3	
第 2 号 マンホール	 3	内 径 1 2 0 c m 円 形	汚 水 樹 (9 0 0)	 2.5 3	
第 3 号 マンホール	 3	内 径 1 5 0 c m 円 形	雨 水 樹 (3 5 0)	 1.0 3	
第 4 号 マンホール	 3	内 径 1 8 0 c m 円 形	雨 水 樹 (5 0 0)	 1.0 3	
第 5 号 マンホール	 3	内のり(法) 210×120cm角型	集 水 樹 (L 型)	 1.0 3	
特 1 号 マンホール	 3	内のり(法) 60×90cm角型			
特 2 号 マンホール	 3	内のり(法) 120×120cm角型	雨 水 吐 き 室	 9.5 3.5 3	
特 3 号 マンホール	 3	内のり(法) 140×120cm角型	吐 き 口	 6	
特 4 号 マンホール	 3	内のり(法) 180×120cm角型	圧 送 管	 3	
小口径マンホール	 3	内 径 3 0 c m 円 形	地 盤 高	○. ○○○ (少数第3位止)	漢 数 字
楕円マンホール	 3	内のり(法) 60×90cm楕円型	管 底 高	○. ○○○ (少数第3位止)	
特殊マンホール	真 形 表 示	個別にB4判に構造図作成	勾 配	○. ○% (少数第1位止)	管 底 高 差 × 1,000 管 渠 長
伏 越 マンホール	 4 真形表示	個別にB4判に構造図作成	区 間 長	○○. ○○ (少数第2位止)	 A = 区間長 B = 管渠長
副管付マンホール	 3		円 形 管	○ ○○○ (直径)	
振り分けマンホール	 3		ボックスカルバート	 ○○○×○○○ (幅×高さ)	イ ン バ ー ト 付
そ の 他	 3	点検孔及びボックスマンホール	ボックスカルバート	 ○○○×○○○ (幅×高さ)	イ ン バ ー ト 無
			三 方 張 水 路	 ○○○×○○○ (幅×高さ)	
			三 方 張 水 路	 ○○○~○○○×○○○ (上幅~下幅×高さ)	

位置図 (S = 1/2,500)



基準点については、大分市公共下水道事業に伴う基準点台帳により行うものとする。

平面図 (S = 1/500)

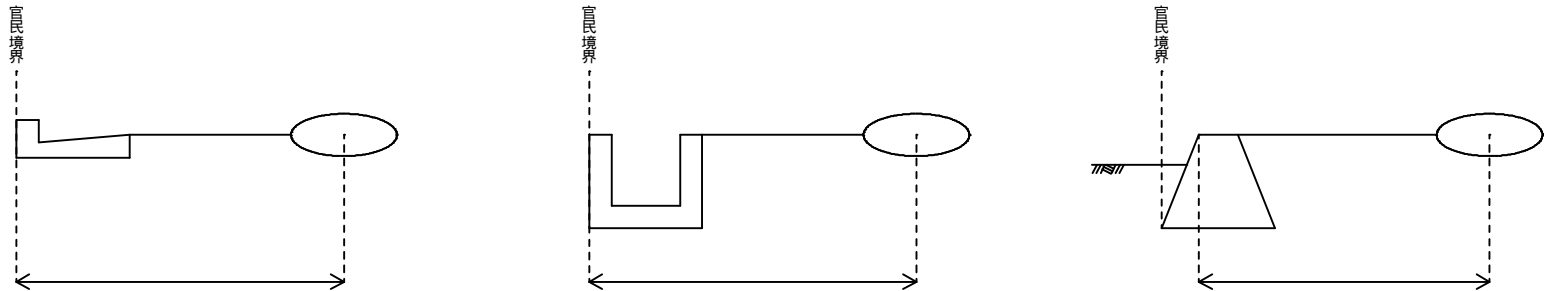


台帳作成要領

マンホール特性

項目	単位	表示桁数	算出桁数	備考
MH蓋中心高	m	小数第3位止め		
三点距離	m	小数第2位止め	小数第3位四捨五入	MH蓋中心から官民境界等までの距離を3点とる(対象物より鉛直距離とする)*1
上下流管底高	m	小数第3位止め		

(* 1) 既設構造物 例



管特性

項目	単位	表示桁数	算出桁数	備考
勾配	‰	小数第1位止め	小数第2位四捨五入	*2
区間距離	m	小数第2位止め	小数第3位四捨五入	MH中心間水平距離

(* 2) 算式

$$\text{勾配} = \frac{\text{上流管底高} - \text{下流管底高}}{\text{区間距離} - 1/2 \text{上流MH内径} - 1/2 \text{下流MH内径}} \times 1000$$

(注) 塩ビマンホール施工区間についても上式を用いて算出すること

公共樹特性

項目	単位	表示桁数	算出桁数	備考
上流MHから	m	小数第2位止め	小数第3位四捨五入	*3
本管中心から	m	小数第2位止め	小数第3位四捨五入	*4
樹蓋縁枠から	m	小数第3位止め		*5

(* 3) 上流MH蓋の中心から取付管中心までの水平距離

(* 4) 本管中心から樹管口までの水平距離

(* 5) 樹蓋縁枠より取付管底までの深さ

